

## メルコグループ

平成15年 11月 10日

各 位

会 社 名 株式会社 メルコホールディングス 代表取締役社長 牧 誠コード番号 6676 (東証・名証第一部)本社所在地 名古屋市中区大須四丁目 11番 50号

## ネットワーク家電関連の新事業に関するお知らせ

当社の子会社である株式会社バッファローは、今後普及の見込まれるネットワーク家電を簡単に無線 L A Nに接続するための新技術を開発しました。この技術を核としてホームネットワークのインフラを整備するための無線 L A N トータルソリューションを事業化することにしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

## 1.新事業の概要

近年、ブロードバンド回線は急速に普及し、家庭内の複数のパソコンからインターネットを利用するためのホームネットワークが利用されるようになってきました。このホームネットワークでは、無線LANが今後主流となってゆくと考えられています。また、平成15年12月からは、地上波デジタル放送が開始され、その特徴の一つに双方向通信があります。この双方向通信では、下りは地上波放送ですが、上りでは、インターネット回線が利用されるため、さらにホームネットワークのユーザが増加することが見込まれます。さらに、インターネットに接続し状況の確認やコントロールのできる「ネットワーク家電」が登場し始めています。今後、ユビキタスネットワークを実現する高度なネットワーク社会に向け、便利な「ネットワーク家電」はますます増加、普及して行くと考えられます。

一方、普及のための条件として、混信や盗聴を防ぐ高度な暗号化技術(セキュリティ機能)と、機器の設定、操作が簡単に誰でも扱えるようにすることがあります。ネットワークの設定は難しくセキュリティの高度化に伴う設定の複雑化は普及のための障害となりかねません。また、キーボードを持たない「ネットワーク家電」では、パスワードなどを入力することも困難です。

このような問題に対し株式会社バッファローは、無線LANの国内シェアの約6割を占めるリーディングカンパニーとして、パソコンはもとより「ネットワーク家電」もボタンを押すだけで、高度なセキュリティを施した無線LAN接続を可能にする画期的な新技術「A.O.S.S(AirStation One-Touch Secure System)」(特許申請済)を開発しました。この「A.O.S.S」により、無線LAN製品の普及が加速化されるとともに、ネットワーク家電市場の拡大に大きく貢献できると考えています。

株式会社バッファローは、「A.O.S.S」を無線LANモジュールとセットにしてネットワーク家電メーカ様に提供します。これによりネットワーク家電メーカ様にとっては開発コストやサポートコストの低減、対象ユーザ層の拡大など多くのメリットがあります。

株式会社バッファローは「ネットワーク家電関連分野」の新事業に進出します。



## メルコグループ

- 2 . ネットワーク家電メーカ様などに向けた事業の詳細
  - 1.簡単接続設定システム「AirStation One-Touch Secure System(A.O.S.S)」の提供

「AirStation One-Touch Secure System(A.O.S.S)」は、これまで一般的には困難とされてきた無線LANの接続設定を飛躍的に簡単にする新技術です。これを用いることで、ネットワーク家電を、パソコンを別途用いることなく、ワンタッチでセキュアな無線LANネットワークに接続可能。暗号化方式は、基本的な「WEP」(64/128bitWEP)のほか、最新のWPAにも採用されている「TKIP」、米国政府の標準暗号化方式として採用されている強固な「AES」に対応しており、「A.O.S.S」がそれぞれの機器のセキュリティ機能レベルを判断、最適な暗号化方式に自動設定します。もちろん、通常のパソコンを接続する際も、ワンタッチでセキュアな無線LANネットワークへの接続が可能です。現行のAirStationの多くは、ファームウェアのアップデートにより、「A.O.S.S」に対応します。

機器の仕様によっては対応する暗号化方式が異なります。

- 2.省電力・小型無線LANモジュールと、「A.O.S.S」ファームウェアのセット提供
- 弊社は、Broadcom社をはじめとする世界の無線モジュールベンダーより、省電力・小型で高性能な無線 LANモジュールを調達し、それを「A.O.S.S」ファームウェアとセットにして、家電メーカなど各社に 提供。これにより、各メーカは、高性能かつ、AirStationへ簡単に接続できる無線モジュールを、様々 な機器に容易に搭載することが可能になります。また、同時に開発途上中のソフトウェアのサポートも いたしますので、開発コストを軽減することも可能です。
- 3.BSA(Buffalo Service Alliance)と連携してのマルチメーカサポート提供

情報家電時代には、ホームネットワーク上に様々な機器がつながることから、異なるメーカの機器が混在するマルチメーカ環境が増加すると予想されます。そのような環境では、故障やトラブルが発生した場合にその原因の切り分けが難しく、ユーザ、メーカともに問題解決にかかる負担が増加します。これに対し弊社は、豊富な設定サポートのノウハウと実績を持つBSA(Buffalo Service Alliance)と連携することで、A.O.S.S/無線モジュール搭載機器に関し、無線ネットワーク関係のサポートを一括して請負。電話サポート、訪問設定サポート、訪問アフターサポートなどを通して、メーカを問わず、ワンストップアフターサービスを提供いたします。

このような無線LANトータルソリューションを提供することで、ユーザの様々な不安(購入の選定から 設定、セキュリティ、サポートに至るまで)を解消。ネットワーク家電を、誰でも簡単に、安心して日 常的に使用できる世界の実現を目指し、ホームネットワークにおけるインフラ整備に努めてまいります。

> お問合せ先 取締役経営統括本部長 牧 博道 電話番号 052 - 251 – 6891 (代)